

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」
～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学力向上の基盤となる規範意識の向上
 - (1) 「静かに待つ」「話を聴く」ことの徹底
 - (2) 掃除時間の指導の徹底
 - (3) 靴箱・傘立ての整理整頓
 - (4) 気持ちのよい挨拶
- 2 学力向上の基盤となる人間関係の構築
 - (1) いじめ撲滅
 - (2) お互いをほめ合う児童の育成
 - (3) 道徳授業の推進
- 3 学力向上の基盤となるたくましい体の育成
 - (1) 欠席児童数1割減
 - (2) ロング昼休みの外遊びの奨励
- 4 個を生かすアクティブ・ラーニングの実践
 - (1) 主体性を生む学習課題の設定
 - (2) 一人ひとりの児童の特性を生かす学びの推進
 - (3) 学んだことを家庭で話し生かす取組

＜本年度の振り返り＞

- 1 ○学校評価アンケートより、そうじに頑張っている児童が96.3%、きまりを守っている児童が96.5%、あいさつをしている児童が97.4%となり、市学習状況調査アンケートより、先生や友達の話きちんと聞いている児童が91%以上となり、規範意識が向上している。
- 2 ○学校評価アンケートより、友達と仲良く生活している児童が96.5%となった。また各学年道徳の研究授業を1本行い、市学習状況調査アンケートより、道徳の話合いが好き、またはためになると答えた児童が92%となり、成果が上がっている。
- 3 ○欠席児童数は昨年度比1割減となった。また学校評価アンケートより、元気に外遊びや運動をしている児童は90.9%となった。
▲経年変化で見ると、新体力テストの結果が低下している学年があるため、さらに体力向上に向けた取組を行っていく。
- 4 ○学校評価アンケートより、親子で学校の話をしている児童が90.8%となった。また、3・4年生において算数のコース別少人数授業を行った。